

取扱説明書

DAYTONA

R18796①/④

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。


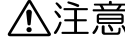
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。






ノーマルヘッド対応 ボアアップKIT88cc	適応車種 モンキー/ゴリラ (12V用)	商品NO. 18796
---------------------------	----------------------------	----------------

■ご使用前に必ずご確認ください■


- ※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。
- ※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。


-  **警告** 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
-  **注意** 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 火気厳禁	表記の禁止行為を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。		

警告

-  **禁止**
 - 作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。
 - この商品は、記載されている適合車種以外の車両には使用しないでください。
 - 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

注意

-  **法令違反**
 - この商品は道路運送車両法の保安基準に適合しておりますが、スピード違反やマフラー、キャブ等交換により音量が保安基準を超えた場合は、ライダー自身が道路交通法違反で罰せられます。運転は必ず遵法運転を心がけ楽しいバイクライフをエンジョイしてください。
 - 当商品を装着することにより、排気量が増え、原付2種扱いとなります。したがって、一般公道走行の場合は次の条件を満たす必要があります。下記条件を満たさないで一般公道を走行した場合は、該当する法令に抵触しますので、必ず手続き及び、免許の取得を行ってから走行をしてください。
 - ①運転免許の資格が普通自動二輪(小型二輪)以上であること。
 - ②市町村区の役所において、車両登録標識(ナンバープレート)を該当する排気量の物に変更する事。
 - ③任意及び自賠責保険の条件が該当排気量に合致している事。



火気厳禁

- 作業の前にエンジン及びマフラーが冷えていることを確認してください。走行直後などでエンジンやマフラーが冷えていないまま作業を行いますと火傷の原因となり大変危険です。
- 燃料ホースの取り外し作業は、必ず火気厳禁で行なってください。また、ガソリンからは揮発したガスが常に発生していますので、十分な換気を行ないながら作業をしてください。**



実施

- この商品を装着した場合、トルク&パワーは増加しますが、最高回転数はノーマルより低くなります。最高速調整の為、ドライブスプロケット（15丁）への交換をお奨めします。ただし、当社1次側強化3枚クラッチKIT装着の場合は交換不要です。（チェーンを長いものに交換する必要があります。）
- 排気量が大幅にアップし、熱量も増加するため、オイルポンプは当社メガオイルポンプを使用して下さい。
- この商品を装着した際は必ず1次側強化3枚クラッチキット（又は他社の2枚以上の強化クラッチキット）の装着が必須です。**
- この商品を取り付けた場合、ノーマルのマフラーやキャブレターでは容量不足のため、お奨めしません。また、車種によってはキャブレターがフィンと接触します。**ビッグキャブ（PC20等）と市販のマフラーを装着してください。**
- この商品を装着した際は必ず点火プラグの熱価を7番以上にしてください。**
- 使用するガソリンは必ずハイオクガソリンをご使用ください。**
- 推奨エンジンオイル（粘度は使用する地域の外気温に適した粘度のオイルを使用すること。）を使用してください。**

【推奨オイル】

メーカー	品名	粘度
MOTOREX	POWER SYNT 4T	SAE 10W/50、5W/40
↑	CROSS POWER 4T	↑

※JASO MA API分類 SG以上の、100%化学合成モーターサイクル用エンジンオイルを使用すること。

- オイルは初回 500km、次回 2000kmを目処に、交換をおこなってください。**
- 作業の際、ケースカバー内に異物が混入しないよう十分に注意して作業してください。
- 作業の際、ゴミやほこり等の付いたままのパーツをそのまま組み付けますとエンジン部品が痛みます。パーツ類は必ずきれいにしてから組み付けを行ってください。
- 取り付け後約100km 走行しましたら各部を点検してネジ部等の増し締めを行ってください。その後は約500km 毎に必ず点検を行い、同様の増し締めを行ってください。
- この商品は、記載されている適合車種以外の車両には装着を行わないでください。
- 取り付けは確実に行ってください。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けを行ってください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行ってください。
- 必ず安全を確保した上で、確認を怠らないよう十分注意し、作業を行ってください。
- この商品の取り付けにあたっては、設備の整ったオートバイ店もしくは認証整備工場で専門的な教育を受けた整備士に作業を行って頂く必要があります。専門外の方が作業を行うと、けがや火傷等の恐れがあり大変危険です。従って、この商品の取り付けは専門のオートバイ店もしくは認証整備工場へ依頼し、装着を行ってください。
- この商品を取り付ける際は、車両のジャッキアップ等、危険な作業を行います。作業全般において、車両転倒等により、重大な事故・怪我をする可能性があります。



その他

- この商品を装着した事に依る二次的トラブル（クランクケースの破損、焼きつき、ミッションギアの破損等）は一切保証の対象外とさせていただきます。又商品に関しても、当社製造上等の不良が認められない限り、保証の対象外とさせていただきますので予めご了承ください。**
- 性能向上のため、関連パーツで必要となる商品がございます。本説明書では関連パーツの商品に関しては、取り付け手順を省略しております。予めご了承ください。
- この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をすることがあります。また、文中に御紹介した商品についても同様です。予めご了承ください。
- 商品の不具合についての保証を行っておりますが、商品以外の費用の保証は一切できませんのでご了承ください。

- この商品の取り付けには別途ホンダ純正のサービスマニュアルをご用意していただき、確実な作業を行ってください。また、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼されることをお勧めいたします。
- この商品の装着にあたってはキャブレターのセッティングの必要（ノーマルキャブレターの場合も含む。）があります。
- **レース等、競技目的の使用は自己責任にて、保証の対象外であることをご了承のうえ使用してください。**
- **この商品は耐久性の面ではノーマルエンジンに及びません。定期的なメンテナンスが必要になりますので、あらかじめご了承ください。**

本商品の特徴

- 圧縮比は約 11.5。
- Φ52 ピストンはコスワースタイプで非常に軽量。
- 0.8mm特殊表面処理のピストンリングの採用で耐焼き付き性と耐磨耗性アップ。
- 冷却効率に優れた新型のビッグフィンシリンダーへ変更。
- シリンダー下側にはレッグシールド装着用の穴が追加。

同時装着部品

品番	品名	説明
74670	メガオイルポンプ	排気量アップで熱量が上がるため、オイルポンプの交換が必要です。
77415	強化カムチェーン25HS/82 リンク	エンジン出力が飛躍的に上がります。ノーマルカムチェーンで発生するキンクを事前に防止します。
92225	PC20ビッグキャブKIT	もっともお奨めのキャブレターです。セッティングを出しやすく、乗りやすい仕様です。
95634	1次側強化3枚クラッチKIT	エンジン出力が飛躍的に上がりますので、駆動系トラブル&エンジントラブルの軽減を図ります。

オプション部品

品番	品名	説明
98332	ハイカムシャフト	ノーマルヘッド限界までリフト量をアップし、低中速～最高回転まで全域パワーアップを実現
93302	強化スタッドボルト（ナット付き）セット	クロームモリブデン鋼を使用した高引張強度仕様のスタッドボルト（ロングキャップナット付属）
93301	強化スタッドボルトセット	クロームモリブデン鋼を使用した高引張強度仕様のスタッドボルト
26415	強化バルブスプリングセット	高回転時のサージングを防止します。
96806	ハイパーヘッドバージョンUPキット	ハイパーヘッドにバージョンUPするためのKITです。
29240	スーパーハイスロットルキット/ブラック	ディスクブレーキに変更し、純正のスロットルホルダーを使用しない車両用のスロットルホルダー・スロットルスリーブ・ケーブルがセットのビッグキャブ用ハイスロキット。

参考セッティング (直キャブ)

PE24 キャブレター	M/J	#98
	S/J	#45
	スロットルバルブ	#3
PE20 キャブレター	M/J	#82
	S/J	#45
	スロットルバルブ	#3
PC20 キャブレター	M/J	#85
	S/J	#38

商品内容

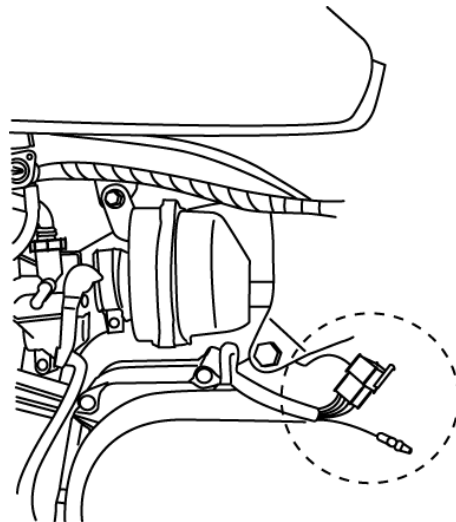
No.	パーツ名	サイズ(mm)	数量	No.	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	アルミシリンダー		1	⑨	Lサイドカバーガスケット		1
②	ピストン		1	⑩	Rサイドカバーガスケット		1
③	ピストンリングセット		1	⑪	エキゾーストガスケット		1
④	ピストンピン		1	⑫	マニホールドガスケット		1
⑤	ピストンピンサークリップ		2	⑬	Oリング※1		2
⑥	ヘッドガスケット		1	⑭	Oリング(大)		2
⑦	ベースガスケット		1	⑮	ボアアップキット用標識		1
⑧	ヘッドカバーガスケット		1	※1 1個は使用しません。			

エンジンの下ろし方、分解方法

エンジンを下ろすとサイドスタンドが使用できませんので、車体の保持に、レーシングスタンドを使用し、車体を固定してください。

1.

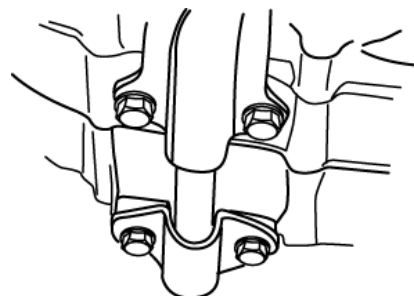
左クランクケースカバーの上から出ている配線を辿り、エンジンハンガー内側のラバーブーツから、6Pカプラー・黒のギボシを抜き取ります。



2.

クランクケース下側・ステップを固定しているボルト(4本)を緩め、ステップ&サイドスタンドを取り外します。

その際、サイドスタンド戻し忘れ防止の配線がある車両は、スイッチから出ている配線の緑色のカプラーを外しておいてください。

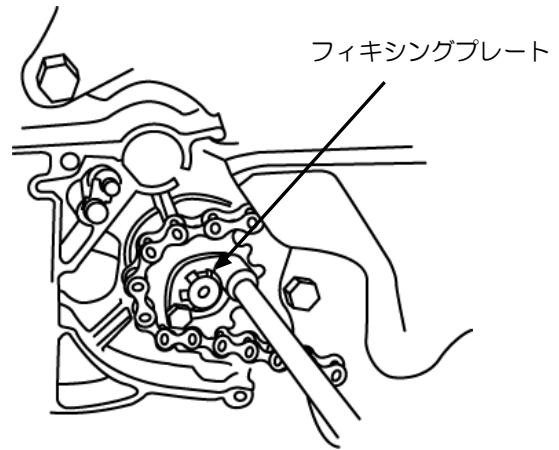


3.

クランクケース左側Lサイドカバーを外し、フロントスプロケットを外します。

スプロケットを外す際は、ギアを1速にいれ、スプロケットを固定しているボルト（2本）を緩めて、外します。

その後、フィキシングプレートを回し、フィキシングプレートをずらし、プレートの凸とシャフトの凹をあわせ、手前に抜き取ります。



4.

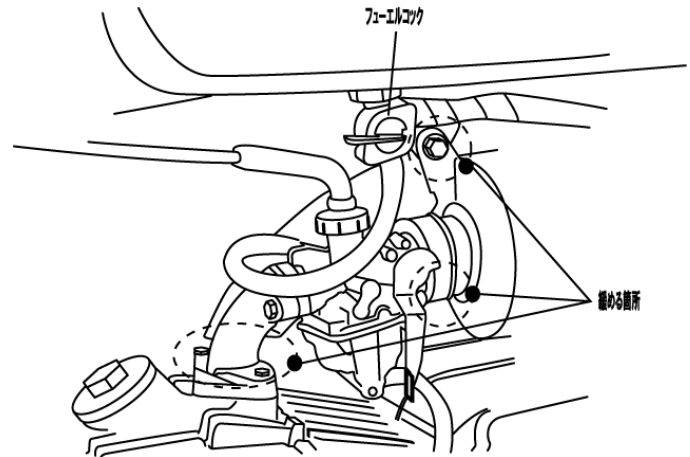
【キャブレター・エアークリーナーを外します。】

フューエルコックをオフにし、ホースを抜きます。

その際、ホースからガソリンが噴き出す場合がありますので、ウエスなどで、ホースを包み込むようにし、ガソリンの飛散防止を行ってください。

キャブレターを固定しているマニホールド固定ボルト&エアークリーナー固定ボルト&エアークリーナーインシュレーター固定バンドを緩め、キャブレター・エアークリーナーをはずします。

フレームNoがAB27以降の車両は、エアークリーナーにプロパイガス還元のホースが付いていますので、このホースをエアークリーナーから抜きます。



5.

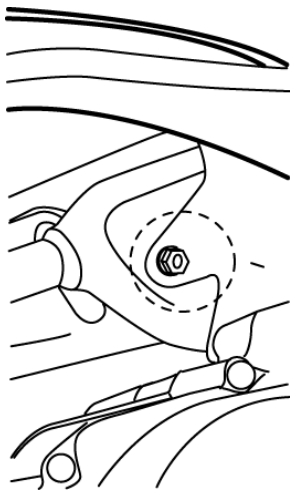
【純正マフラーを外します。】

図A

エンジンマウントと共締めしているナットをはずします。

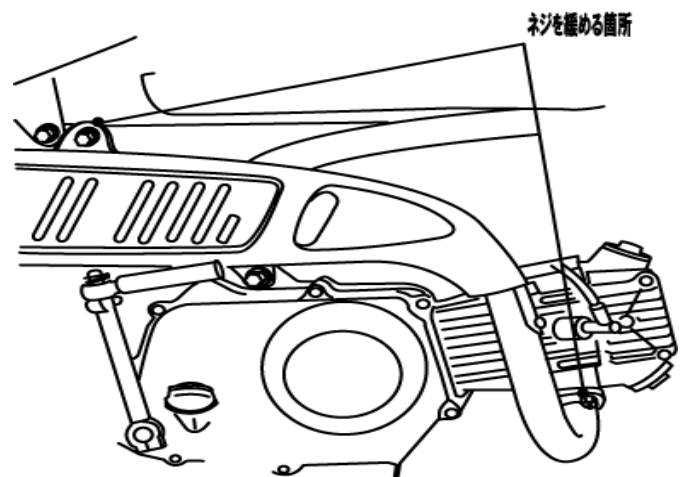
図B

フレーム側固定ボルト【シートとタンクの間】と、シリンダーヘッド側ナットをはずし、マフラーを引き抜きます。



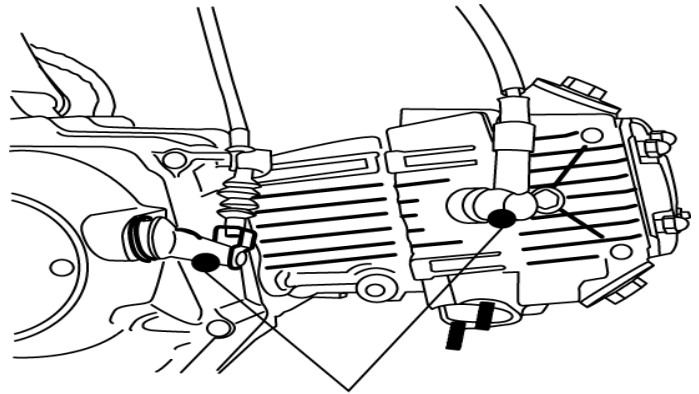
図A：車体左側から見たところです。マフラー左側のM6のナットを外します。

図B



6.

【プラグキャップ・クラッチケーブルを外します。】



クラッチケーブル&プラグキャップをはずします。

7.

【エンジンを車体より降ろします。】

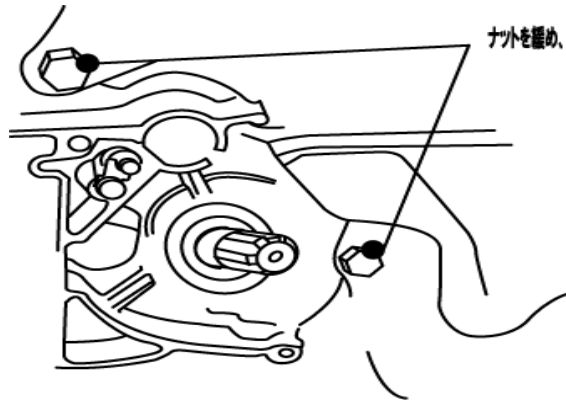
エンジンマウントボルト（2本）を抜くと、エンジンが車体より外れますので、危険防止のため、クランクケース下側に、ジャッキ、又は、丈夫な箱などを置いて、安全策を講じてから作業を行ってください。

クランクケース上側マウントボルト及び、後ろ側マウントボルトのナットを緩め、シャフトを引き抜きます。

ボルトを引き抜く際は、右図のように、

- ① 下側エンジンマウントボルトを引き抜きます。
- ② 上側エンジンマウントボルトを引き抜きます。

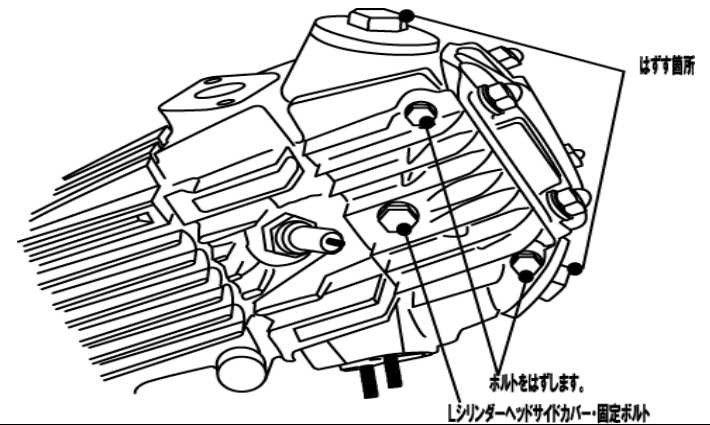
上側エンジンマウントボルトを引き抜くと、エンジンが外れます。



ナットを緩め、ボルトを引き抜きます。

8.

タペットホールカバー・Rサイドカバーを固定しているボルトを予め緩めておきます。



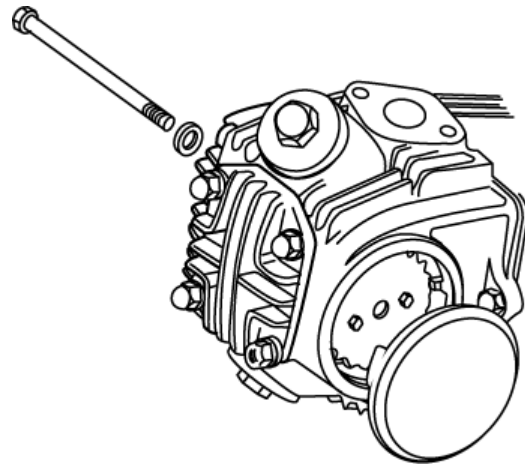
はずす箇所

ボルトをはずします。
シリンダーヘッドサイドカバー固定ボルト

9.

【Lサイドカバーを外します。】

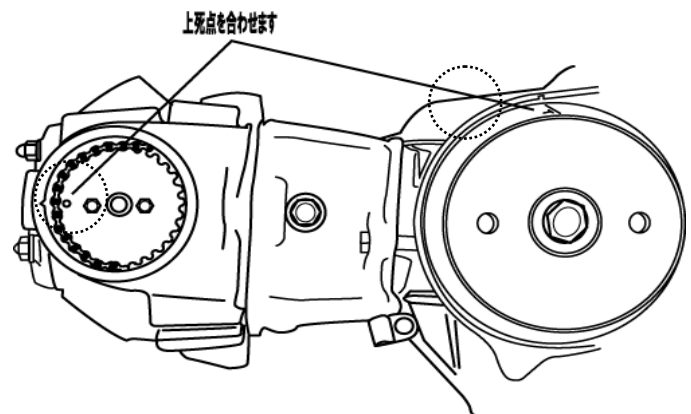
Lサイドカバーが貼り付いて外れづらい場合は、固定ボルトをサイドカバーに対しネジ部を半分ほどかかった状態にし、ボルトの頭をプラスチックハンマーでたたくと容易に外す事が出来ます。



10.

【上死点を合わせます。】

フライホイールの T マークをクランクケースの上側【右図の位置】切り欠き部に合わせた時に、カムプロケットの O マークがシリンダーヘッドの切り欠きに合う位置が、ピストンが一番上に達している位置になります。



11.

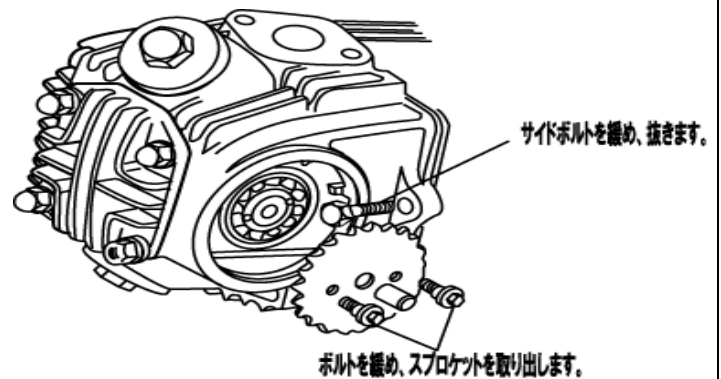
【カムプロケットを外します。】

カムプロケットを固定しているボルト【M5×2本】を外しカムプロケットごと引き抜きます。

カムプロケットを外す際は、ボルトを抜いた穴2箇所をラジオペンチでつまみ、手前に引き出すよう作業を行ってください。

その後、サイドボルトを緩めシリンダーヘッドより抜き取ります。

サイドボルトは再使用します。

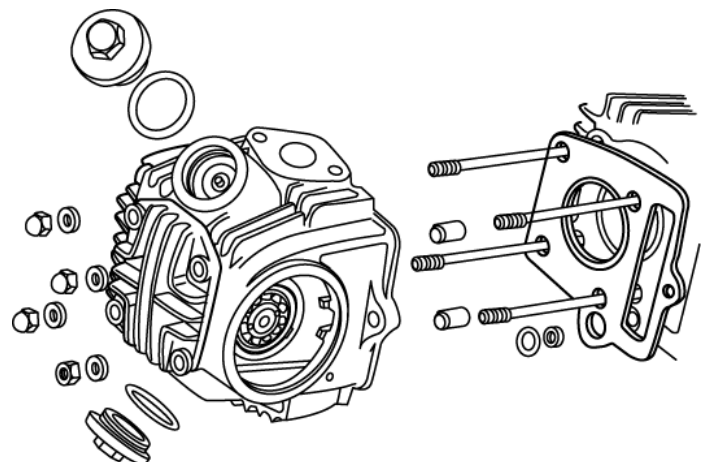


12.

シリンダーヘッドを締め付けている、袋ナット【3個】・ナット【1個】を対角線に緩め、ワッシャー【スチール3枚・銅1枚】も取り外します。タペットキャップも取り外します。

その後、シリンダーヘッドを引いて抜き取ります。

ガスケットが貼り付いている等で、ヘッドが抜けづらい場合は、プラスチックハンマーで、ヘッド本体を軽く叩きながら、シリンダーヘッドを引き抜いてください。



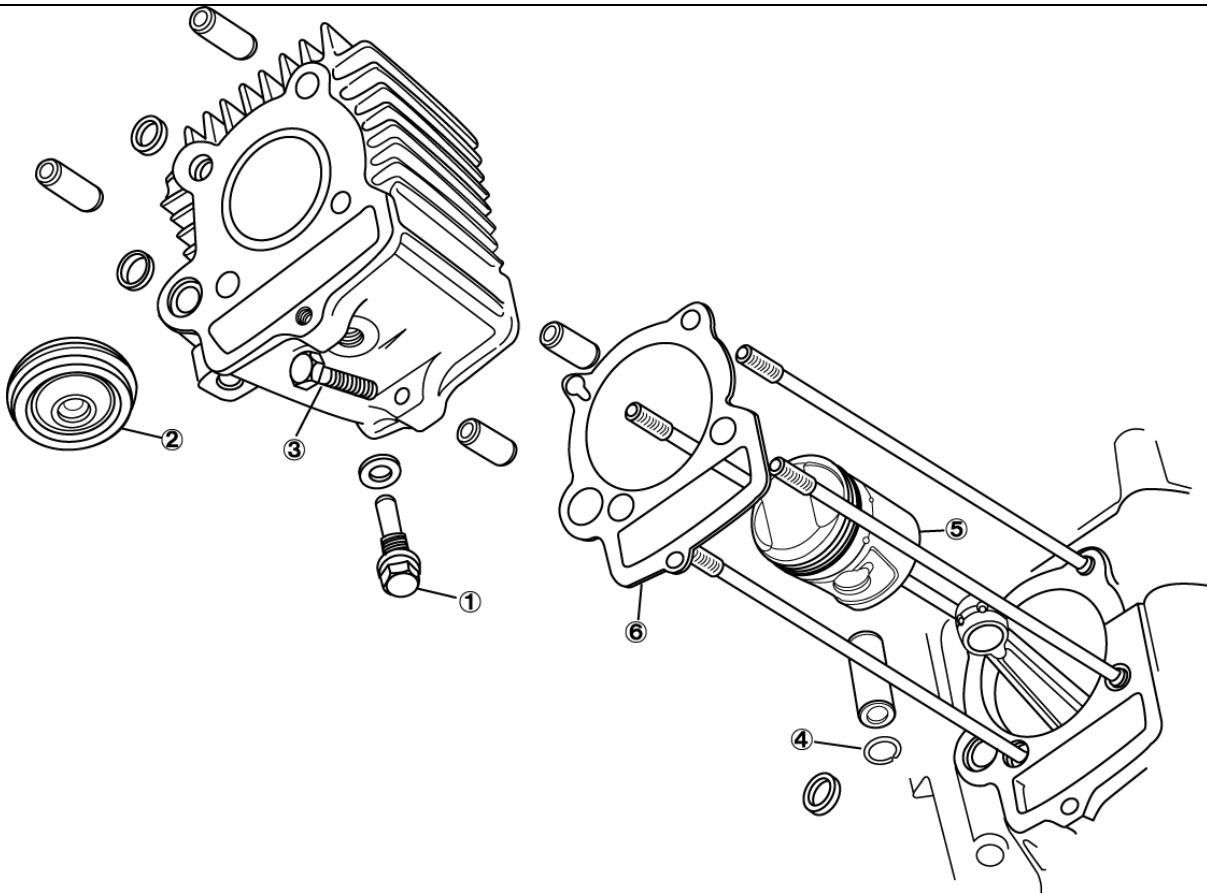
13.

【シリンダーを抜き取ります。】

①ローラーガイドシャフトを緩め、シリンダーより外します。②ローラーガイドをシリンダーのカムチェーン通路より取り外します。③シリンダーサイドボルト（1本）を緩め、シリンダーを引き抜きます。この際、ガスケットの貼りつきがあり、困難な場合は、シリンダーをプラスチックハンマーで軽く叩き、引き抜いてください。

クランクケースにウエス【布】をいれ、クランクケース内部に異物が入らないようにし、④ピストンピンサークリップを外し、ピストンピンをピストンから引き抜きます。ピストンがクランクから外れたら、シリンダーベースガスケットをスクレイパーなどできれいにはがしてください。nockピン、ラバーガスケットも取り外します。

※クランクケース内にガスケットの破片やゴミが入らないよう注意してください。



シリンダー、ヘッドの取り付け

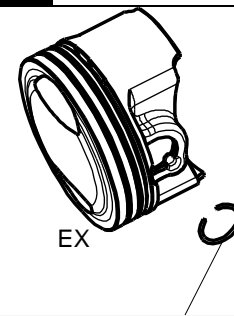
1.

ピストンの片側にサークリップを1個だけ装着します。
クランクにピストンを装着する際に、片方だけ入れておけば、作業がスムーズに運びます。

⚠重要

ピストンピンサークリップが、確実にピストンに装着されている事を確認してください。

又、サークリップの変形・歪みが発生した場合は、そのサークリップの使用は避け、当社補修品番【31796】を使用してください。



ラジオペンチを使用して、片側のみピストンピンサークリップを装着します。

2.

【ピストンリングを装着します。】

リングの名称・仕様は下記のようになります。

① : トップリング

リング外周部分にメッキコーティング【銀/銅色】を採用し、耐磨耗性・フリクションの低減を図っています。

リングの合口部分に「T」又は「N」マークがあります。

リング組み付け時は、上記マークを上側に向け組み付けを行います。

② : セカンドリング

パーカライジング処理【表面に燐酸塩皮膜を作る防錆処理】を採用。
リング表面色：黒色

リングの合口部分に「T」又は「N」マークがあります。

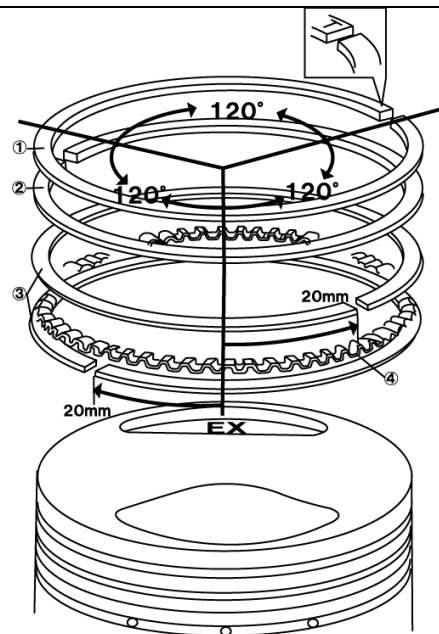
リング組み付け時は、上記マークを上側に向け組み付けを行います。

オイルリング：③サイドレールと④スペーサーで構成。

スペーサーをサイドレールで挟み込むようにして組み付けます。

組み付け方法は、スペーサーをリング溝へ入れてから、サイドレールをスペーサーの上下へ入れます。

各リングの組み付け角度は、右図を参照してください。



3.

【ピストンをコネクティングロッドへ組み付けます。】

クランクケースに異物が入らないよう、ウエス等でカバーをし、EXの刻印を下側に向け位置を合わせます。

ピストンピン・ピストンリングに4stオイルを塗布し、ピストン・コネクティングロッド小端部に通します。

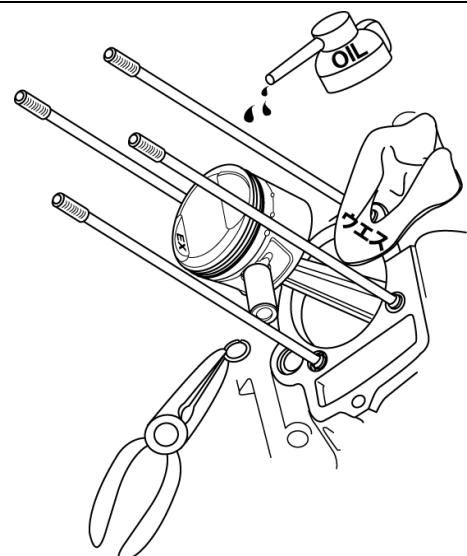
その後、ピストンピンサークリップをピストンに装着します。

⚠重要

ピストンピンサークリップが、確実にピストンに装着されている事を確認してください。

又、サークリップの変形・歪みが発生した場合は、そのサークリップの使用は避け、当社補修品番【31796】を使用してください。

上記の事を怠ると、エンジン始動時にサークリップが外れ、エンジンが壊れてしまいます。



4.

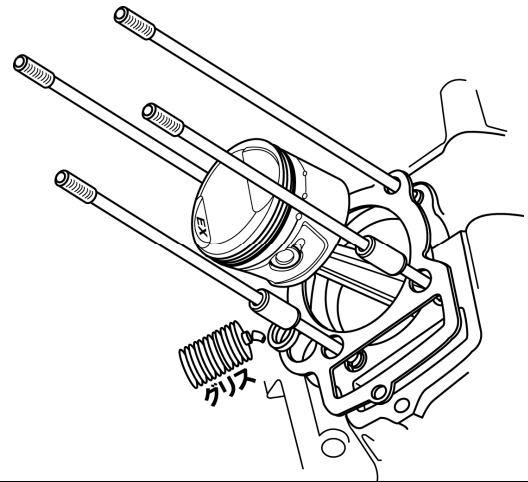
シリンダーベースガスケット(ペーパータイプ: 1枚)・ノックピン(Φ8×12mm: 2個)・Oリング(ゴム製・オレンジ色1個)を装着します。

右クランクケース上側スタッドボルト・左クランクケース下側スタッドボルトにノックピンを装着します。

シリンダーベースガスケットを装着し、右図の部分にOリング(ゴム製・オレンジ色1個)装着します。

One Point!

Oリング装着の際は、グリスを塗布し、クランクケースに装着すると、Oリングの脱落防止になり、作業がスムーズに行えます。



5.

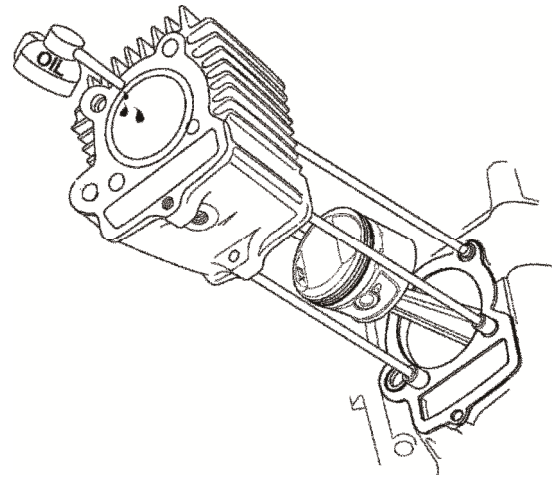
【シリンダーを装着します。】

シリンダー内側に4 s t オイルを塗布し、スタッドボルトにシリンダー・ピストンを通します。

シリンダーにピストンを入れる際に、ピストンリングが引っかかりますので、爪の先などでリングを押さえながら、ピストンを装着してください。

One Point!

ピストンリングの装着は、慎重に行ってください。無理にピストンを挿入すると、ピストンリングが破損します。各ピストンリング全周が、シリンダーに挿入されていることを確認しながら作業を行ってください。



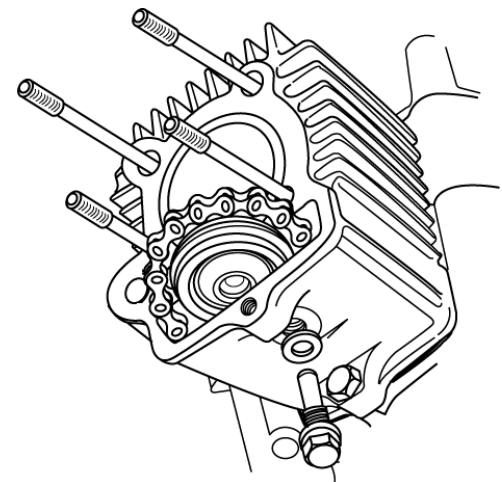
6.

【シリンダーにカムチェーンガイドローラーを装着します。】

シリンダーが抜けないう、シリンダーサイドボルトでシリンダーを仮留めし、チェーンを引き出し、ガイドローラー固定ボルトにてガイドローラーを装着します。

(後に本締めを行いますので、サイドボルトの本締めは必要ありません。)

■ ガイドローラーボルト締め付けトルク (Nmの場合)
8Nm~12Nm

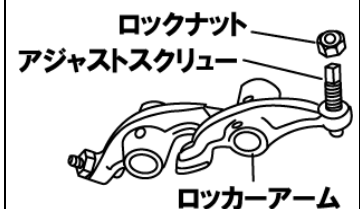


7.

ロッカーアームのロックナットを緩めます。

One Point!

シリンダーヘッド装着後に、タペットクリアランス調整をしますので、この段階では本締めの必要はありません。



8.

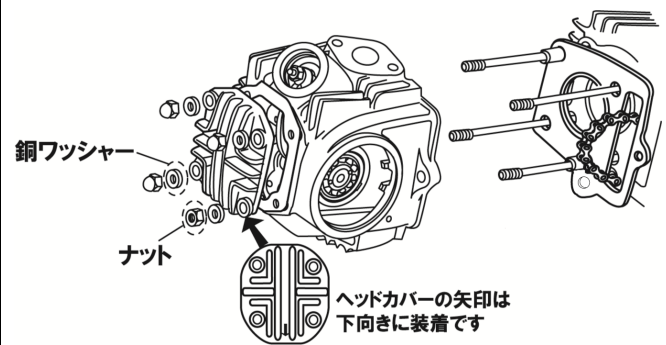
【シリンダーヘッドを装着します。】
 ノックピン(Φ8×14:2個)を右クランクケース上側、左クランクケース下側(Φ8×14)のスタッドボルトに通し、シリンダーへ差し込みます。
 ヘッドガスケット(金属)を装着し、下図の位置に装着します。

※シリンダーとシリンダーヘッドの間にOリングは不要です。

シリンダーヘッド・ヘッドカバーガスケット・ヘッドカバーの順で装着します。

取外した、シリンダーヘッドを締め付けていた袋ナット3個・ナット1個・スチール製平ワッシャー3枚・銅ワッシャー1枚を使用し、下図の装着箇所へ規定トルクにて締め付けを行ってください。

■ シリンダーヘッド締め付けトルク(Nmの場合)
 10Nm~12Nm



9.

【カムチェーン sprocket の装着を行います。】
シリンダーヘッド・シリンダーのサイドボルトを規定トルクで締め付けます。

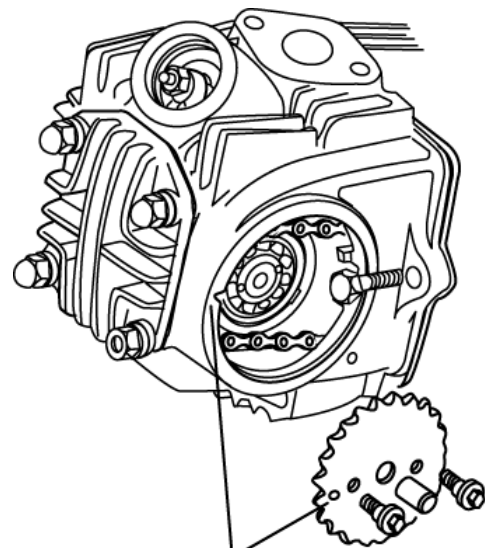
■ サイドボルト締め付けトルク(Nmの場合)
 8Nm~12Nm

カムシャフトの中心にノックピン(Φ8×12:1個)を組み込みます。

フライホイールの“T”マークをクランクケース側切り欠きにあわせませます。

“T”マークをあわせのまま、カムチェーンにカムチェーン sprocket を取り付け、カムチェーン sprocket の“O”マークとシリンダーヘッドの切り欠きを合わせ、カムシャフトの位置を調整して、カムチェーン sprocket 固定ボルトを規定トルクで締め付けます。

■ カムチェーン sprocket 締め付けトルク(Nmの場合)
 8Nm~12Nm



フライホイールの“T”マークを合わせ sprocket の“O”印とヘッドの切り欠きをあわせ装着します。

10.

【タペットクリアランスの調整を行います。】
この作業を行う場合、専用工具が必要になります。

- シクネスゲージ
(品番44325)
- タペットアジャストレンチ
(品番32410)

シクネスゲージの0.05mm・プレートに4 s t オイルを薄く塗布し、アジャストスクリュー先端とインテーク or エキゾーストバルブ先端の間にシクネスゲージを挟みこむようにあてがいます。

シクネスゲージをスライドさせながらタペットアジャストレンチでアジャストスクリューを回します。

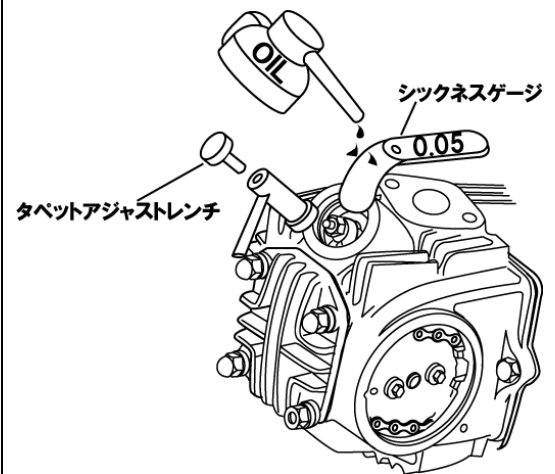
シクネスゲージをスライドさせながら、アジャストスクリューを回していく中で、シクネスゲージの動きに多少の引っかかりが出てきたポイントが適正なクリアランスになります。

このポイントで、アジャストスクリューのロックナットを規定トルクで固定します。この作業は、インテーク側・エキゾースト側共通の作業です。

- ロックナット締め付けトルク (Nmの場合)
7 Nm ~ 11 Nm

⚠重要

タペットクリアランスが狭すぎたり、広すぎたりした場合、カムシャフトの損傷・ロッカーアームの偏磨耗の原因となります。適正なクリアランスで設定するよう確認しながら作業を行ってください。



11.

【シリンダーヘッドサイドカバーの取り付け。】

タペットキャップを規定トルクで取り付けます。

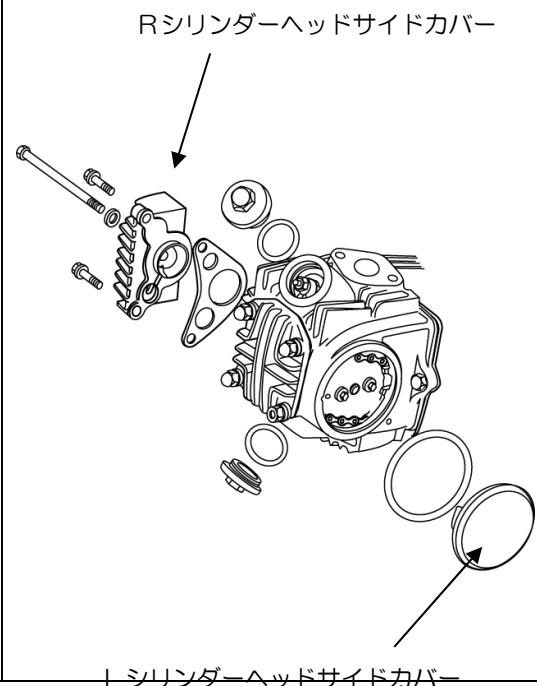
- タペットキャップ締め付けトルク (Nmの場合)
10 Nm ~ 14 Nm

次に、Rシリンダーヘッドサイドカバーを外し、商品付属のガスケットを使用し、シリンダーヘッドに規定トルクで取り付けます。

- Rサイドカバーボルト締め付けトルク (Nmの場合)
8 Nm ~ 12 Nm

次に、取り外したLシリンダーヘッドサイドカバーを商品付属のガスケットを使用し、シリンダーヘッドに規定トルクで取り付けます。

- Lサイドカバーボルト締め付けトルク (Nmの場合)
8 Nm ~ 12 Nm



12.

【マニホールドの装着】

シリンダーヘッドとマニホールドの間にマニホールドガスケットを使用し、純正ボルトで取り付けを行います。

One Point!

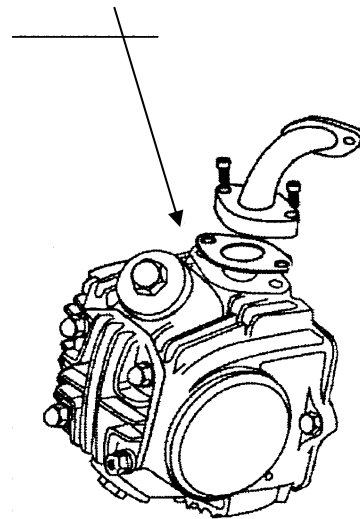
ビッグキャブを装着する場合は、ビッグキャブ用マニホールドに合ったマニホールドガスケットを使用して下さい。

13.

【スパークプラグを交換します。】

排気量が上がり、エンジン出力が増大しているため、スパークプラグはNGK「CR7HSA」に変更して下さい。

マニホールドガスケット



14.

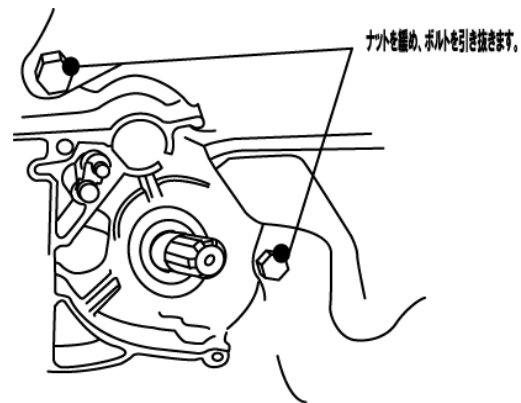
【エンジンを車体に搭載します。】

危険防止のため、クランクケース下側に、ジャッキ、又は、丈夫な箱などを置いて、安全策を講じてから作業を行って下さい。

エンジンをフレームのエンジンハンガーに合わせ、上側のエンジンマウントボルトを通します。

次に下側エンジンマウントボルトを通し、上下のエンジンマウントボルトに、ナットを規定トルクで締め付けます。

■ エンジンマウントボルト締め付けトルク (Nmの場合)
20Nm~25Nm



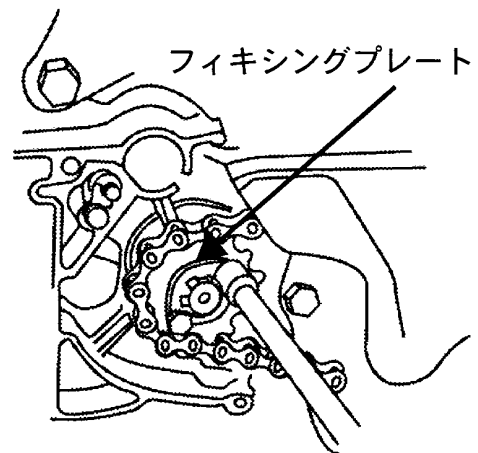
15.

【ドライブsprocketを装着します。】

ギアを1速に入れた状態でドライブsprocketをカウンターシャフトに組み付け、フィクシングプレートを嵌め、ボルト2本で固定して下さい。

↳クランクケースカバーを元のように取り付けて下さい。

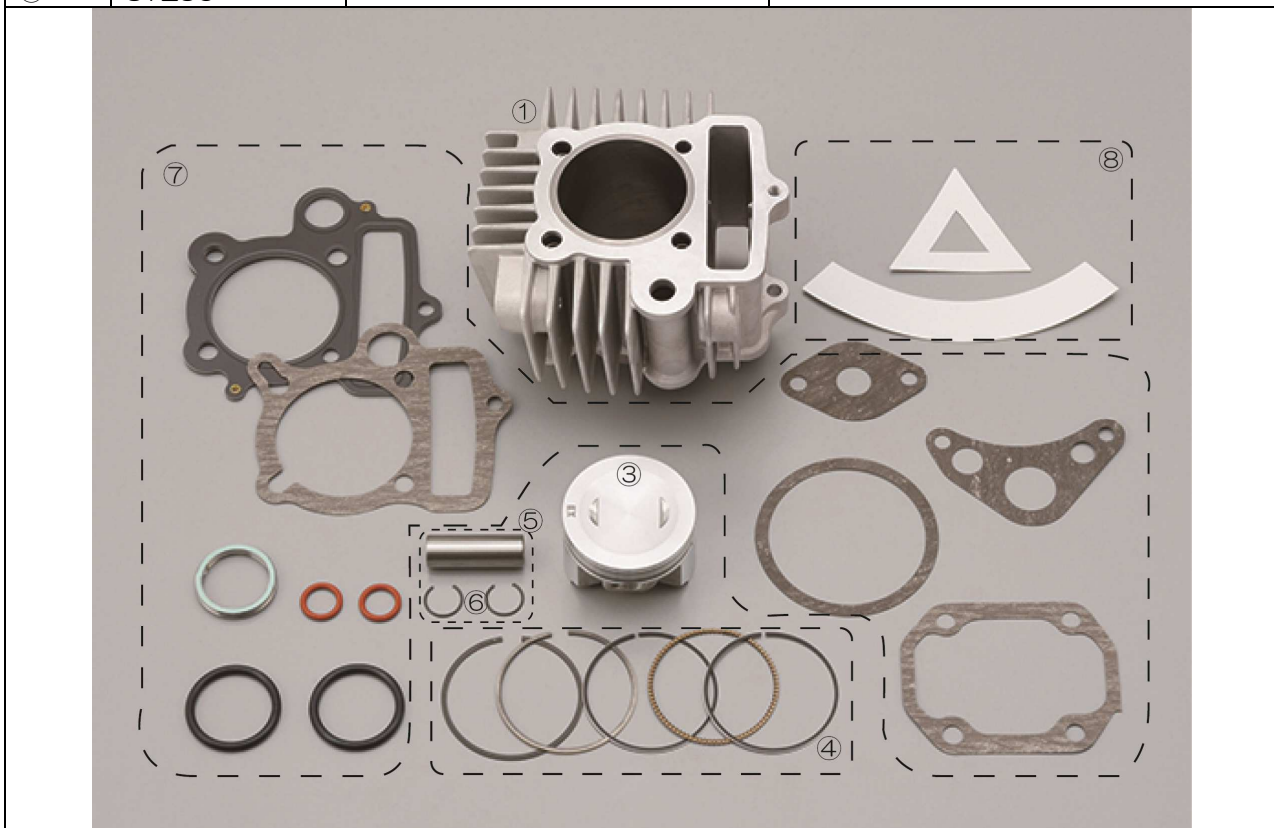
■ フィクシングプレート締め付けボルト締め付けトルク (Nmの場合)
8Nm~12Nm



- ドリブンギアを変更しない他社の強化クラッチを使用している場合、最高速調整の為ドライブsprocketを15丁へ交換する必要があります。当社、1次側強化3ディスククラッチキットは1次減速比が高速型になっておりますので、ドライブsprocketを15丁へ交換する必要はありません。
- ビッグボアキットの装着は以上です。キャブレター・オイルポンプ、マフラー等については、変更が必要となりますので、装着の際は、交換された商品の取扱説明書をご参照ください

補修品

番号	品番	品名	内容
①	19997	シリンダー (88cc)	アルミシリンダー×1
②	74462	ピストンKIT (88cc)	③ピストン単体×1 ④ピストンリングセット×1 ⑤ピストンピン×1、サークリップ×2 ⑦ガスケットセット×1
③	74463	ピストン単体 (88cc)	ピストン×1
④	39185	ピストンリングセット (88cc)	トップリング×1 セカンドリング×1 サイドレール×1 スペーサー×2
⑤	76785	ピストンピン&サークリップ	ピストンピン×1 サークリップ×2
⑥	31796	サークリップセット	ピストンサークリップ×2
⑦	61683	ガスケットセット	ヘッドガスケット×1 ベースガスケット×1 マニホールドガスケット×1 Lサイドカバーガスケット×1 Rサイドカバーガスケット×1 Oリング黒×2 Oリング橙×2 EXガスケット×1
⑧	37256	原付2種用ステッカーセット	



東証JASDAQ上場
株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <https://www.daytona.co.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955まで